

3集落が連携した集落営農を実践！ ～中山間地域における集落維持活動～

【類 型】 水稻 + 作業受託 + 野菜・果樹

【組 織 名】 農事組合法人 いーすとみやま
(令和3年1月7日設立)

【所 在】 高知県四万十市
片魚・常六・三ツ又

【農業地域類型】 山間農業地域

【構成戸数・人数】 16人

【従事者数】 オペレーター 6人

【経営規模（令和6年度実績）】

水稻 1.55ha (ヒノカリ 1ha、吟の夢 0.4ha、モチ米0.15ha)

甘長とうがらし 0.06ha、サツマイモ 0.3 ha

タマネギ 0.06ha、ブシュカン 0.95ha

作業受託 (耕起、荒かき、畦塗り、代掻き、田植え、収穫、籾摺り、色選、乾燥)



(農) いーすとみやま設立総会

設立の経緯

- 中山間地域等直接支払交付金の複数協定が連携し、平成15年に任意組織「東富山ふるさとを守る会（平成20年から「東富山を守る会」に名称変更）」を設立。農作業受託部会、福祉交流部会、交流促進部会の3部会を設け、水稻・果樹等の協業経営や農作業受託、地域の福祉活動に取り組んだ。
- 集落営農のさらなる発展および東富山を守る会の継続性を確保することを目的に農作業受託部会の法人化に向けた協議を開始。令和3年に（農）いーすとみやまを設立した。

取組の特徴・効果

- 狭隘な農地を活用した野菜・果樹等の高収益作物を栽培。
- 中山間地域等直接支払交付金の協定組織との連携による法人経営の安定化を目指している。
- 補助事業を活用し、施設・機械を計画的に導入(【機械・施設一覧】参照)。
- 四万十市が推進するブランド米「四万十農法米」に取り組んでいる。
- 地元酒造会社と連携した酒米生産に取り組んでいる。
- 野菜栽培では収穫・調製作業に女性も参画している。
- 令和6年度からはサツマイモの加工事業に取り組む計画。

【具体的な取組内容】



法人設立検討会



土佐甘とうの栽培状況



サツマイモの栽培状況

【機械・施設一覧（令和6年時点）】

施設・機械名	規格・型番	年度	総事業費 (円)	組合 負担額 (円)	備考
トラクター	25ps	H22	2,210,000	不明	県事業
田植機	4条植		659,000	不明	県事業
乾燥機	15石		2,330,000	不明	県事業
乾燥機	15石		2,330,000	不明	県事業
動力噴霧機	3CH		830,000	830,000	自己資金
動力噴霧機	3CH		834,000	834,000	自己資金
コイン精米機	—	H23	5,700,000	5,700,000	自己資金
乾燥機	9石	H27	50,000	50,000	自己資金
乾燥機	9石		300,000	300,000	自己資金
ハンマーモア	650mm	H28	290,500	290,500	自己資金
コンバイン	2条刈	H30	2,340,900	702,900	県事業
畦塗機	16~32ps対応	R1	507,100	390,000	県事業
トラクター	15ps	R2	450,000	450,000	自己資金
乾燥機	14石		200,000	200,000	自己資金
乾燥機	9石		25,000	25,000	自己資金
糞摺機	4インチ		3,630,220	3,630,220	自己資金
運搬トラック	2t		550,000	550,000	自己資金
フォークリフト	1.5t	R3	1,727,000	1,122,000	県事業
ロータリー	—	R4	295,770	295,770	自己資金
田植機	4条植	R5	650,000	650,000	自己資金
堆肥散布機	—	R5	1,493,800	150,000	国事業
合計			27,403,290	16,170,390	

【課題・今後の取組】

- 組織活動の維持に向けた、オペレーター・常時雇用者の確保
- 周年栽培体系の確立に向けた、経営計画の樹立
- 各栽培品目の収量の向上及び安定化
- 東富山を守る会と連携した地域貢献活動の実施